

おすすめ!



ぶっくりすと

秋田市立図書館

2026年3月作成



『車のいろは空のいろ！ 白いぼうし』

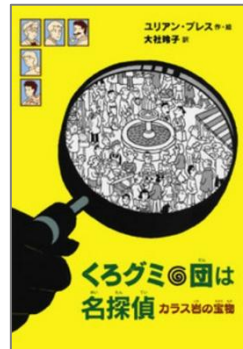
あまんきみこ／作 北田卓史／絵 ポプラ社



松井さんがうんでんする空色のタクシーには、ふしぎなお客さんがのってきます。「小さなお客さん」、「白いぼうし」など、心あたたまる8つのお話がはいっています。[91ア]

『くろグミ団は名探偵 カラス岩の宝物』

ユリアン・プレス／作・絵 大社玲子／訳 岩波書店



「くろグミ団」はするどい観察と推理で事件を解決する5人の探偵グループです。ストーリーを読み、絵にかくされた手がかりを見つけて一緒になぞと解いてみましょう！

[94プ]

『黒ねこサンゴロウ！ 旅のはじまり』

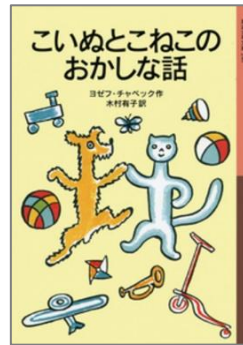
竹下文字／作 鈴木まもる／絵 偕成社



お父さんに会うため、特急マリンに乗ったケン。となりにすわった黒ねこサンゴロウは宝探しに行くといっています。「いっしょにくるかい。」と、さそわれたケンは…？ [91タ]

『こいぬとこねこのおかしな話』

ヨゼフ・チャベック／作 木村有子／訳 岩波書店



人間と同じように暮らしたいと思う、こいぬとこねこがいました。うまくいかないこともあるけれど、2ひきはそうじや料理など、いろいろなことをやってみます。[98チ]

『ココロ屋』

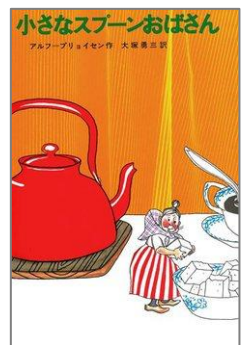
梨屋アリエ／作 菅野由貴子／絵 文研出版



友だちとケンカして先生にしかられたぼくの前に、ココロ屋のとびらが現れました。自分の心を、ココロ屋の作り出す「やさしいココロ」と取りかえてみようかと考えます。[91ナ]

『小さなスプーンおばさん』

アルフ＝プリオイセン／作 ビョールン＝ベルイ／絵 大塚勇三／訳 Gakken



ある朝とつぜん、ティースプーンくらいに小さくなっていったおばさん。まわりのものがおどろくほど大きいけれど、うまく頭を使ってピンチを切りぬけていきます。[94フ]

おすすめ!



ぶっくりすと

2026年3月作成



『注文の多い料理店』

宮沢賢治／作 和田誠／絵 岩崎書店



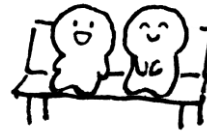
山へ狩りをしにやってきた二人の男は、帰る途中に一軒のりっぱな料理店を見つけます。おなががすいていたので、中へ入ってみると…。[91ミ]

『どうぶつ句会』

あべ弘士／作・絵 Gakken

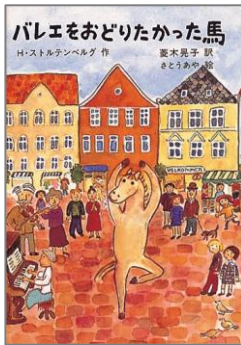


6ぴきの動物たちが、春夏秋冬の景色の中で、句会を開きます。だじゃれあり、食いしんぼうな俳句あり、ユーモアや個性あふれる作品がいっぱいです。[91]



『バレエをおどりたかった馬』

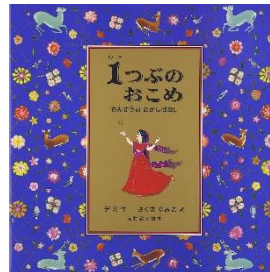
H・ストルテンベルグ／作 さとうあや／絵 菱木見子／訳 福音館書店



いなかで暮らしていた馬は、ある日初めてバレエを見て、すっかり夢中になってしまいます。自分も立派なダンサーになろうと、町へ出てバレエの修行を始めます。[94ス]

『1つぶのおこめ さんすうのおかしばなし』

デミ／作 さくまゆみこ／訳 光村教育図書



こぼれたお米を届けたラーニは、王様からのごほうびとして30日間、前の日の倍の数のお米をもらうことに。1日目は1つぶ、2日目は2つぶ、30日目は何つぶ? [Eデ]

『ファール昆虫記』

J・H・ファール／作 伊藤たかみ／文 大庭賢哉／絵 ポプラ社



ファールは、小さい頃から自分で調べ、確かめることが大好きでした。昆虫の生き生きとした暮らしぶりや知恵をまとめたこの観察記録は、100年以上読みつがれています。[486.1]



『ホオズキくんのオバケ事件簿1』

オバケが見える転校生!』

富安陽子／作 小松良佳／絵 ポプラ社



謎の影をよく見るようになった真先。転校生の鬼灯京十朗から、その影は「カゲビト」というオバケなのだと教えられます。ホオズキ君はオバケが見える一族の子どもだったのです。[91ト]